

笑顔 顔 の 明日 へ



3期目に当たり、 覚悟新たに

このたび、課題多き中で3期目の県政を担わせていただくことになり、従前にも増して責任の重さを深くかみしめております。

さて、本県の最大の課題は、人口減少問題への対応であることは論を待たないものと考えますが、この問題は複雑多岐で、一朝一夕に解決するような単純なものではありません。

しかし、私は新たな任期に当たり、この困難な問題に真正面から立ち向かい、スピード感を持って、「攻め」と「守り」の両面から有効な政策を強力に推進するため、覚悟を新たに全力を尽くしてまいります。

なにとぞ、県民の皆さまも、かけがえのない「ふるさと秋田」を前に進めるため、共に動いていただくようお願い申し上げます。

秋田県知事 佐竹 敬久

さたけ のりひさ○昭和22年11月15日、仙北市角館町生まれ。角館高等学校、東北大学工学部卒業。昭和47年3月、秋田県庁入庁。工業振興課長、地方課長、総務部次長を歴任し、平成13年7月、秋田市長に就任。平成17年7月、秋田市長再任。平成21年4月、秋田県知事に就任。平成29年4月、3期目スタート。

≡ これまでの主な取り組みの成果 ≡

成長産業である航空機・自動車分野の新規進出や県内企業の受注拡大と、風力発電など新エネルギー分野の伸長

えだまめ・ねぎなどの園芸メガ団地や大規模肉用牛団地の整備の進展により、平成28年度の農業産出額伸び率が全国1位

大曲厚生医療センター・湖東厚生病院の改築による地域医療体制の整備と、脳血管疾患や自殺による死亡率の低下

あきた結婚支援センターの成婚者数1,000人達成と、保育料や医療費、住宅リフォーム助成などによる少子化対策の推進

国民文化祭・観光キャンペーンなど大規模イベントの開催や、海外チャーター便の運行・クルーズ船の増加による交流人口の拡大

県内高速道路供用率90%の達成と、東北中央自動車道「真室川雄勝道路」の新規事業採択による県内全線の事業化